INFORMATION ほか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-02-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00057139

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

INFORMATION

【期間：2019年－2020年】

第１回　北陸免疫研究会

日時：2019年9月13日（金）15：00－18：35　場所：医学部記念館2階　プレゼンテーションルーム
演者1：安本和生先生（金沢医科大学大学院医学系研究科　腫瘍内科学　特任教授）
タイトル：「難治性スキルス胃癌に対する革新的新規標的治療法の開発」
演者2：馬場智久先生（金沢大学がん進展制御研究所　分子生体応答研究分野　准教授）
タイトル：「白血病細胞と正常造血細胞の間でのクロストーク」
演者3：樗木俊聡先生（東京医科歯科大学難治疾患研究所　生体防御学分野　教授）
タイトル：「単球・マクロファージの分化経路と疾患標的としての可能性」
演者4：松島綱治先生（東京理科大学生命医学研究所　炎症・免疫難病制御部門　教授、東京大学名誉教授）
タイトル：「新規がん複合免疫療法を目指した私達の取り組み」
連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系　分子遺伝学　倉知　慎（Tel:076-265-2176,E-mail:kurachi@med.kanazawa-u.ac.jp）

The 2nd Japan-Germany Symposium on Advanced Preventive Medicine 2019（第２回日独合同先進予防医学シンポジウム）の開催について

このたび，大学院先進予防医学研究科及び先進予防医学研究センターでは，大学間国際交流協定校であるドイツのハインリッヒ・ハイネ大学（HHU）との教育及び研究協力の連携強化を目的に，以下のシンポジウムを開催します。

HHUの研究者はもちろん，金沢・千葉・長崎の3大学からなる共同大学院の研究者及び学生による発表もありますので，多数の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

■開催日：2019年10月3日（木）及び10月4日（金）
■会　場：石川県政記念　しいのき迎賓館（金沢市広坂2-1-1）
■主　催：金沢大学大学院先進予防医学研究科，金沢大学先進予防医学センター
　　先進予防医学研究科 科長 市村　宏　TEL　076-265-2229

第26回 日本時間生物学会 学術大会

日時：2019年10月12日（土）9：00 ～ 19：00 ／ 2019年10月13日（日）8：30 ～ 18：00
場所：金沢市文化ホール　会議棟
テーマ：時間生物学の新潮流　Neo-chronobiology
開催概要：特別講演　・服部正平（早稲田大学）
　・Erik Herzog（Washington University in St. Luis）
　シンポジウム・生物時計の発振と同調機構にみられる共通性と多様性
　・細胞・組織・個体に表出されるリズムの自律性と非自律性の分界
　・体内時計研究の産業応用や社会実装
　・体内時計・睡眠とメンタルヘルス
　・時間医学 from bench to population
　・生物の多様な集団発振現象
ポスター発表データブリッツ、ポスター発表（～ 120演題）、奨励賞授賞式・受賞講演
大会HP：http://neurophysiol.w3.kanazawa-u.ac.jp/26jsc
連絡先：金沢大学・医学系・統合神経生理学（第26回日本時間生物学会学術大会　運営事務局）
　TEL：076-265-2173，E-mail：26jsc@med.kanazawa-u.ac.jp

第49回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会

開催日：2019年11月30日（土）

開催場所：石川県文教会館 (石川県金沢市尾山町10-5)

一般社団法人日本消化器がん検診学会は、本邦の消化器がん健診に関する学術、研究の推進と、効果的な検診の実践、普及をはかり、ひいては国民の健康増進を通じて社会に貢献することを目指しています。その一環として、第49回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会を開催します。今回の地方会では「消化器がんの科学と実践」を主題にかかげ、関連企画講演、シンポジウム、一般演題発表と共催セミナーを通じて、本会の主旨に資する発表や討論がなされるよう願っています。本地方会には、東海北陸地区から医師、診療放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師、行政職など消化器がん検診関係者およそ300名余の参加が見込まれることから、実り多い学術集会になるよう準備を進めています。

連絡先：金沢大学がん進展制御研究所　腫瘍制御　　源　利成　　TEL 076-265-2798　　E-mail minamoto@staff.kanazawa-u.ac.jp

International Symposium on Diabetes and Glycation Biology

日本学術振興会・国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「慢性炎症と線維化をきたす生体ネットワークの解明とその制御の国際的研究者育成」事業推進と金沢大学先魁2018の国際ネットワーク拡大、そして、国際共同研究推進のため、米国・英国・豪州・韓国・カタールおよび日本国内から研究者を招き、糖尿病とグリケーション研究における国際シンポジウムを開催する。学類学生、大学院生、研究者・教員スタッフ、そして広く興味のある方々が対象となる。

日時：2020年1月14日（火）　10：00-17：00

場所：金沢大学医学部記念館2階

主催：血管分子生物学分野　　TEL 076-265-2182　E-mail: yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp

第36回日本臨床細胞学会　石川県支部学術集会

開催日時：令和2年1月26日（日）11：00-17：00

開催場所：金沢大学附属病院　宝ホール

教育講演：製鉄記念八幡病院　病理診断科　金城　満　先生　　「日常の尿細胞診に役立つポイントとピットホール」

特別講演：愛知医科大学病院　病理診断科　都築　豊徳先生

－ The Paris Systemを中心に－　　「膀胱癌診療ガイドラインから見た尿細胞診の運用について」

世話人：金沢大学附属病院　病理診断科　中田　聡子

TEL：076-265-2027　　E-mail：snakada@staff.kanazawa-u.ac.jp

第30回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成３年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で30回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介してくださった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から２０題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は北海道大学・口腔内科学教授の北川善政先生にお願いしました。「口腔内科学UpDate」について、とても興味深いお話が聞けます。

日時：令和2年2月8日土曜日　14：00 ～

場所：金沢東急ホテル

お問い合わせは金沢大学歯科口腔外科医局まで　　TEL:076-265-2444

【開　催　告　知】

令和2年　金沢大学十全医学会総会・学術集会

開催日：6月23日（火）

場　所：金沢大学十全講堂

§ 総会　12：40－13：00

Ⅰ．会 長 挨 拶

Ⅱ．庶 務 報 告　　令和1-2年　事業計画および報告

Ⅲ．会 計 報 告　　1. 令和1年　決算報告　2. 令和2年 予算計画

Ⅳ．編 集 報 告

§ 第16回（令和1年度）金沢大学十全医学賞受賞記念講演　13：00－13：35

受賞講演「再生不良性貧血における分子病態の解明と，
診断・治療のバイオマーカーの開発」

金沢大学附属病院　高密度無菌治療部　助教　　細川　晃平　先生

§ 学術集会　『生体リズム・睡眠研究の最前線』　13：45－17：45

講演1. 金沢大学医薬保健研究域医学系　細胞分子機能学　　教授　　安藤　仁　先生

講演2. 京都大学大学院薬学研究科　分子脳科学　　特任教授　　岡村　均　先生

講演3. 金沢大学医薬保健研究域医学系　統合神経生理学　　教授　　三枝　理博　先生

講演4. 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構　　機構長　　柳沢　正史　先生

令和２年度
《十全医学賞・十全医学奨励賞》
(応 募 規 程)

目　　的　医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し，なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し，賞を与え顕彰することを目的とする．

名　　称　第17回　金沢大学十全医学賞
第１回　金沢大学十全医学奨励賞

応募資格　1. 十全医学賞は会員歴５年以上，50歳未満（応募締切時点）とし，教授およびそれに相当する職位の者は除く．
2. 十全医学奨励賞は会員歴3年以上，学位取得5年以内か，40歳未満（応募締切時点）とする
但し，両賞への同時応募は不可とする．また，過去に受賞した同じ賞への応募も不可とするが，奨励賞に受賞して，２年以上経過後に医学賞に応募することは可能である．

応募締切　**令和２年８月３日（月）必着**

提出書類　1. 応募申込書をHPからダウンロードし，必要事項を記載後，E-mailにて事務局に提出をする．
(1) 関連研究業績について
1) 過去5年間で申請者が発表した論文，著書のうち，本研究に関する重要な論文名を10件選定する。なお，論文は掲載が決定しているものに限る．
2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって，通し番号を付ける．
3) 記載する発表論文については，著者名，論文名，掲載誌名，掲載誌のインパクトファクター，巻（号），ページ，掲載年（西暦）を記載する．（添付した別冊の番号に〇印をつける）
4) 著者名が多数にわたる場合は，主な著者名を3名程度記入（申請者にはアンダーラインを付す）し，以下を省略する。省略した場合は，申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する．
例）　申請者名 $_1$，〇〇〇，・・・・・　　他7名
〇〇〇，申請者名 $_2$，〇〇〇，・・・・・　　他9名
(2) 研究の概要を2000字以内にまとめて記載する．
2. 関連研究の別冊5編（authorとして名前が入っているオリジナル1部，そのコピー７部）の論文を提出する．

選考方法　1. 会長は会長の委任による選考委員会（会長が委員長となり研究科長，医学類長，がん進展制御研究所所長を含む数名を会長が任命する）を設置し，選考委員会の議を経て受賞者を決定する．
2. 十全医学賞，十全医学奨励賞受賞は原則１名ずつとするが，選考委員会での審査の結果，該当者なしという場合もある．

表彰・発表　1. 受賞者は翌年に受賞記念講演を行うこととし，本会会長より表彰し，副賞を贈呈する．
十全医学賞　　受賞楯と賞金20万円　　十全医学奨励賞　　受賞楯と賞金10万円
2. 当該年度十全医学会雑誌に受賞研究に関する総説を掲載する．

※ 受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は，受賞を取り消し，賞金の返還を求める場合があります。

申請・提出先

金沢大学十全医学会（十全医学賞申請）
〒920-8640　　金沢市宝町13-1（http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp）
TEL：076-265-2131　　FAX：076-234-4208　　E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学
十全医学会雑誌

JOURNAL OF THE JUZEN MEDICAL SOCIETY

VOL. 128, 2019

（通　刊　８６３～８６５号）

金沢大学十全医学会
The Juzen Medical Society
Kanazawa University

128 巻 内 容

2019

〔巻頭言〕

村 山 敏 典： 令和の臨床研究中核病院を目指して……1
溝 上 敦： 自伝 ～時の流れに身を任せて ……25
原 田 憲 一： 病理形態学の歴史と未来……85

〔原 著〕

馬 瀬 新太郎： サイトカイン誘導キラー細胞の急性移植片対宿主病抑制機序の検討……86

〔総 説〕

佐 藤 保 則： 職業性胆管癌－わが国の印刷労働者に発生した新たな職業がん……2
古 市 賢 吾： 糖尿病性腎症克服に向けた臨床および基礎的取り組み……7
見 崎 孝 一： 数値流体力学の基礎と脳動脈瘤への臨床応用……26
鏡 京 介： 組織透明化技術の応用：妊娠子宮・卵巣の透明化と3次元画像構築……31
細 川 晃 平： 再生不良性貧血における分子病態の解明と診断・
治療のバイオマーカーの開発……94
薄 井 荘一郎： タンパク質品質管理機構と心臓リモデリング……99
岡 島 正 樹： 敗血症克服への道～βアドレナリン受容体遮断薬の可能性～……104

〔研究紹介〕

山 本 靖 彦： オキシトシンによる母親の養育行動にはパターン認識受容体RAGEが関わる……12
瀧 淳 一： 急性心筋梗塞後の分子イメージング……14
垣 塚 彰： 夢の途中：難治性疾患の治療を目指して……36
生 水 真紀夫： 臨床医として考えることを愉しむ……109
若 山 友 彦： 男性不妊症の病態解明と治療薬の開発……112

〔博士課程優秀論文〕

中 出 祐 介： D-セリンを介した腎腸連関機序の解明 ……38
篠 﨑 康 之： 慢性腎臓病では，腸管トランスポーターの機能不全によって
カルニチン/有機カチオントランスポーター1-エルゴチオネイン系が
障害される……42
齊 藤 夕 貴： 視床下部覚醒ニューロン群に直接シナプス接続する視索前野の
GABA作動性ニューロンはモノアミンにより抑制される……45

〔修士課程優秀論文〕

齋 藤 健 吾： フェレットを用いた形成期の大脳皮質における神経線維層の解析……48
徳 丸 季 聡，遠 山 直 志，和 田 隆 志：内臓脂肪型肥満者における
遅い夕食習慣と蛋白尿出現との関連……50

〔学会開催報告〕

原 田 憲 一： 第22回日本病理学会中部支部スライドセミナー ……16
大 井 章 史： 第1回北陸分子病理研究会……17
市 村 宏： 国際保健学特別セミナー開催……52
倉 知 慎： 金沢大学十全医学会学術交流会……53
市 村 宏： 第2回日独合同先進予防医学シンポジウム開催……114
三 枝 理 博： 第26回日本時間生物学会学術大会 ……115
源 利 成： 第49回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会 ……116

CONTENTS OF VOLUME 128, 2019

Toshinori Murayama : Toward a Core Clinical Research Hospital in beautiful harmony ····· 1
Atsushi Mizokami : An autobiography ～ Leave myself to the flow of time ～ ····· 25
Harada Kenichi : Pathomorphology − History and future − ····· 85

〔**Originals**〕
Shintaro Mase : Suppression mechanism of acute graft-versus-host disease by cytokine-induced killer cells ····· 86

〔**Reviews**〕
Yasunori Sato : Occupational cholangiocarcinoma − Newly certified occupational cancer developing among printing company workers in Japan ····· 2
Kengo Furuichi : Clinical and basic reserch for diabetic nephropathy ····· 7
Yasuhiko Yamamoto : RAGE is essential for oxytocin functions in maternal bonding and nurturing in mice ····· 12
Junichi Taki : Molecular imaging after acute myocardial infarction ····· 14
Kenichi Harada : The 22th Slide Seminar, The Japanese Society of Pathology, Chubu Division ····· 16
Akishi Ooi : 1st Molecular Pathology Meeting in Hokuriku ····· 17
Kouichi Misaki : Fundamentals and clinical application of computational fluid dynamics to cerebral aneurysm ····· 26
Kyosuke Kagami : Tissue clearing technology: three-dimensional visualization of transparent pregnant uterus and ovary ····· 31
Akira Kakizuka : Halfway of a dream : Aiming to treat intractable diseases ····· 36
Yusuke Nakade : Gut microbiota-derived D-serine protects against acute kidney injury ····· 38
Yasuyuki Shinozaki : Impairment of the carnitine/organic cation transporter 1-ergothioneine axis is mediated by intestinal transporter dysfunction in chronic kidney disease ····· 42
Yuki Saito : Monoamines Inhibit GABAergic Neurons in Ventrolateral Preoptic Area That Make Direct Synaptic Connections to Hypothalamic Arousal Neurons ····· 45
Kengo Saito : Investigation of fiber layers in the developing cerebral cortex using ferrets ····· 48
Toshiaki Tokumaru, Tadashi Toyama, Takashi Wada : Association between late dinner habit and proteinuria onset in people with abdominal obesity ····· 50
Hiroshi Ichimura : A report of the Global Seminar in Kanazawa ····· 52
Makoto Kurachi : Acadimic Networking Meeting ····· 53
Kohei Hosokawa : Understanding the molecular mechanisms of acquired aplastic anemia: Toward development of biomarkers for diagnosis and optimal treatment ····· 94
Soichiro Usui : The roles of protein quality control during cardiac remodeling ····· 99
Masaki Okajima : The road to overcoming sepsis − beta-adrenoceptor blocker as an additional therapeutic option − ····· 104
Makio Shozu : Thinking is fun for a physician ····· 109
Tomohiko Wakayama : Elucidation of pathophysiology and drugs of male infertility ····· 112
Hiroshi Ichimura : A report of the 2nd Japan-Germany Joint Symposium on Advanced Preventive Medicine ····· 114
Michihiro Mieda : The 26th Annual Meeting of Japanese Society for Chronobiology ····· 115
Toshinari Minamoto : The 49th Tokai Hokuriku Branch Meeting of the Japanese Society of Gastrointestinal Cancer Screening ····· 116

CONTENTS

Harada Kenichi : Pathomorphology − History and future − ····· 85

〔**Originals**〕

Shintaro Mase : Suppression mechanism of acute graft-versus-host disease by cytokine-induced killer cells ····· 86

〔**Reviews**〕

Kohei Hosokawa : Understanding the molecular mechanisms of acquired aplastic anemia: Toward development of biomarkers for diagnosis and optimal treatment ····· 94

Soichiro Usui : The roles of protein quality control during cardiac remodeling ····· 99

Masaki Okajima : The road to overcoming sepsis − beta-adrenoceptor blocker as an additional therapeutic option − ····· 104

Makio Shozu : Thinking is fun for a physician ····· 109

Tomohiko Wakayama : Elucidation of pathophysiology and drugs of male infertility ····· 112

Hiroshi Ichimura : A report of the 2nd Japan-Germany Joint Symposium on Advanced Preventive Medicine ····· 114

Michihiro Mieda : The 26th Annual Meeting of Japanese Society for Chronobiology ····· 115

Toshinari Minamoto : The 49th Tokai Hokuriku Branch Meeting of the Japanese Society of Gastrointestinal Cancer Screening ····· 116

複写をご希望の方へ
金沢大学十全医学会は，本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。
本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は，(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し，企業等法人による社内利用目的の複写については，当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては，その必要はございません(社外頒布目的の複写については，許諾が必要です)。
権利委託先　一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052　東京都港区赤坂9-6-41　乃木坂ビル3Ｆ
FAX：03-3475-5619　E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作権の引用，転載，翻訳等）に関しては，
(社）学術著作権協会に委託致しておりません。
直接，金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。
問い合わせ先　金沢大学十全医学会
TEL：076-265-2131　FAX：076-234-4208
E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学十全医学会編集委員
杉山和久(委員長)，赤木紀之，市村　宏，絹谷清剛，
髙橋智聡，中田光俊，吉村健一

令和1年11月発行
(日本出版協会会員番号 B111010)

編集者・発行者　杉山和久
発行所　金沢大学十全医学会
〒920-8640
石川県金沢市宝町13－1
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208

印刷　活文堂　石川県金沢市鳴和1丁目17－6